2017年2月13日

各　　位

日本アジア投資　株式会社
（コード番号：8518）

従来連結基準による2017年3月期第3四半期決算概要

増収、最終損益5.8億円増加し黒字転換
通期の業績見込値に変更なし

従来連結基準による2017年3月期第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益が2,831百万円（前年同期比18.9%増）、営業利益が341百万円（前年同期　△291百万円）、経常利益が194百万円（同△465百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益が73百万円（同　△514百万円）となりました。

営業投資有価証券売却高の増加や、メガソーラープロジェクトからの収益の増加により18.9%の増収となり、投資損失引当金繰入額も減少したため、最終利益が黒字に転換しました。

なお、2016年5月に発表した、従来連結基準による通期の業績見込値に変更はありません。

第3四半期までに発生した特別損失やファンド運営報酬の下振れ分を、第4四半期に見込んでいる営業投資有価証券の売却益とメガソーラープロジェクトの売却益によりカバーすることで、通期の業績見込値を目指してまいります。

【従来連結基準による　連結経営成績と業績見込値】

（単位：百万円）

	2016/3期 第3四半期 累計実績	**2017/3期 第3四半期 累計実績**	増減率	2017/3期 通期 業績見込値	2017/3期 第3四半期 累計 進捗率
営業収益	2,380	**2,831**	+18.9%	5,100	55.5%
営業利益	△291	**341**	―	700	48.8%
経常利益	△465	**194**	―	550	35.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	△514	**73**	―	375	19.5%

（注1）従来連結基準とは：

当社グループでは、平成19年3月期より、「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」（企業会計基準委員会　平成18年9月8日　実務対応報告第20号）を適用し、当社グループで運営している投資事業組合等の一部を連結の範囲に加えて連結財務諸表等を作成しております。

しかしながら、投資家及び株主の皆さまに、当社グループの経営成績及び財務状況を正しくご認識頂くためには、従来からの会計基準による財務諸表等の開示も必要と考えてお

り、参考情報として、従来の会計基準に従って、投資事業組合については、資産、負債及び収益、費用を外部出資者の持分を含まない当社及び関係会社の出資持分に応じて計上し、また、会社型ファンドについては連結の範囲から除いた連結財務諸表等を「従来連結基準」として継続的に開示しております。

（注2）従来連結基準による見込値とは：

業績予想につきましては、当社グループが展開する投資事業全般はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。

しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の合理性は低いものの、参考情報として開示しております。

（注3）将来に関する記述等についてのご注意：

「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により、記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

以　上